

7 令和4年度各支部の活動状況（県南ブロック）

土 浦 市

1 土浦市教育研究会特別支援教育部

- 令和4年度研究主題
「社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる児童・生徒の育成」
- 研究テーマ
「自立と社会参加をめざし、一人一人の「生きる力」を培う教育の充実」

2 事業内容

- (1) 第1回土浦市特別支援教育研究部主任会（専門委員会） 5月18日（火）
（Google meet 使用のオンライン会議）

- (2) 土浦市教育研究会特別支援教区研究部研修会 8月2日（火）
（Zoom 使用のオンライン研修会）

テーマ 特別支援教育にまつわるアラカルト～2つの障害モデルと2つの自立活動の
視点から～

講 師 茨城発達臨床研究会 代表臨床発達心理士(スーパーバイザー)・公認心理師
加来 慎也 先生

実践発表 土浦市立都和南小学校 井坂 恵理子 教諭

- (3) 各中学校区交流学习

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| ・土浦一・四中地区 | 11月 1日（火） | ・土浦二中地区 | 7月13日（水） |
| ・土浦三中地区 | 11月30日（金） | ・土浦五中地区 | 11月30日（水） |
| ・土浦六中地区 | 11月 4日（金） | ・都和中地区 | 11月 2日（水） |
| ・新治学園地区 | 10月 4日（火） | | |

- (4) ナイスハートふれあいフェスティバルへの作品出展（下高津小が参加）
12月2日（金）～12月5日（月） ザ・ヒロサワ・シティー会館

- (5) 手をつなぐ子らの作品展 1月21日（土）～27（金）〔土浦市民ギャラリー〕
土浦市内全小中学校、新治学園義務教育学校、土浦特別支援学校が参加

- (6) 土浦市教育研究会特別支援教区研究部研修会 2月15日（水）
（Zoom 使用のオンライン研修会）

テーマ「特別支援学級における教育課程及び学級経営について」

「個別の指導計画の目標と教科・領域の三観点の評価・評定との関連について」

講 師 茨城県教育研修センター 特別支援教育課 指導主事 兼巻 照美先生
同 菅間 健一先生

3 今年度の成果

- 合同校外学習として、中学校区ごとの交流学习を行った。各中学校区で工夫した取組を行い、参加した児童生徒が活躍できる場を設定することができた。他校児童生徒との交流を楽しむことができた。
- 手をつなぐ子らの作品展は、各校が作品の作成に熱心に取り組み、素晴らしい作品が数多く展示され、好評だった。新聞等のメディアの取材を受けたことで、特別支援教育の啓蒙につながった。
- 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と対応について、最新の情報提供を心がけ、オンラインの講演を通して研修を深めることができた。

石 岡 市

1 石岡市教育研究会特別支援教育研究部

○研究目標

- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
- ・豊かな人間性を育むための合同学習や交流，協働学習の推進

2 事業内容

- (1) 第1回特別支援教育研究部研修会 4月28日(木)〔場所：八郷庁舎〕組織づくり
第2回特別支援教育研究部研修会 8月8日(月)〔場所：八郷庁舎〕各係打ち合わせ
第3回特別支援教育研究部研修会 2月下旬〔書面〕

本年度の事業反省及び次年度に向けて

- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会 8月22日(月)～9月23日(金)
〔オンデマンド開催〕県南教育事務所指導主事による講話「特別支援教育の現状と課題」
- (3) 各中学校区交流学习
・八郷中学校区合同学習会 10月26日(水) オンラインでの学校紹介
・園部中学校区合同学習会 11月16日(水) オンラインでの学校紹介
- (4) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月2日(金)～5日(月)
〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕市内小中学校14校参加
- (5) 石岡市手をつなぐ子らの作品展 1月25日(水)～29日(日)
〔場所：石岡市役所多目的ホール〕市内小中学校21校参加
- (6) 石岡市手をつなぐ親の会広報誌「ひびき59号」発行 3月中旬

3 今年度の成果

- コロナ禍以前は合同学習会を大型バス借用にて市外で実施していたが、今年度は2つの中学校区が Meet を活用しての学校紹介等を実施した。コロナ禍でできる活動を探りながら、実施することができた。
- 市内の多くの学校において特別支援学級が増加し、担当者の入れ替えも多くあった。活動内容の共通理解をすべく、感染対策を徹底したうえで研修会を実施し、組織づくり・各係打ち合わせを行ったことで、見通しをもった活動を行うことができた。
- コロナ禍で「石岡市手をつなぐ子らの作品展」が昨年、一昨年と各校での開催としていたが、今年度は開催場所を新たに実施した。石岡市役所を会場としたことで、今まで以上に多くの方々に見ていただくことができたことは、大きな成果であった。

龍 ケ 崎 市

1 龍ヶ崎市教育研究会特別支援教育研究部 令和4年度研究テーマ

- 一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加ができる児童生徒の育成をめざして

2 事業内容

- (1) 市教研重点部会開催 4月28日(木)〔場所：龍ヶ崎小〕
- (2) 市教研夏季研修会 8月3日(水)〔オンライン開催〕
講話「つばみ園の療育 ～療育的視点とは～」
講師 岩崎 早希 先生(龍ヶ崎市こども発達センターつばみ園 言語聴覚士)

- (3) 中学校区ごとによる小中交歓会 11月9日(水)、21日(月)、28日(月)
[場所: 市内小中学校]
- (4) えがお展準備会 1月13日(金) [場所: 龍ヶ崎小]
- (5) えがお展 1月26日(木) 作品搬入
1月27日(金) から1月29日(日) 公開
1月31日(火) 作品搬出
[場所: 大昭ホール 龍ヶ崎 小ホール]

3 今年度の成果

- 昨年度、実施できなかった言語聴覚士・岩崎先生の講話を、オンラインで全員が聴講することができ、担当者の指導力向上につながった。
- これまで全小中学校の特別支援学級在籍児童生徒が集まって行っていた交歓会を、今年度より中学校区ごとに実施する形に変更した。小学生は「自分たちが進学する中学校の先輩」という親しみをもって、中学生は「私たちが待っているから、安心して入学してきてね」という思いやりの気持ちをもって、それぞれが活動時間を十分に確保して交歓会を行うことができた。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、昨年度、一昨年度と開催できなかったえがお展を今年度は開催することができたが、毎年担当者が変わっていくことを考え、持続可能な開催方法について検討していく必要がある。

取手市

1 取手市教育研究会特別支援教育部 令和4年度活動状況

- 令和4年度 研究テーマ
「児童生徒一人一人の理解と支援のあり方」

2 事業内容

- (1) 4月14日 取手市教育研究会定期総会・部長会 [取手市役所藤代庁舎]
- (2) 4月21日 【市一斉研修】特別支援教育研究部研修会 [取手東小]
・研究主題 ・組織の確認 ・年間の見通し
- (3) 5月・6月 特別支援教育研究部「新入生歓迎会」 [各小中学校]
- (4) 6月17日 特別支援教育研究部研修会 [授業研究] [永山小]
- (5) 8月 5日 特別支援教育研究部研修会 [オンライン開催]
・提案授業の振り返り
・今後の活動について (作品展)
- (6) 11月25日～12月5日 取手市美術展に参加 [とりでアートギャラリー]
・特別支援学級児童生徒の作品展示
・[特別支援教育の部] としてコーナーを設ける。
- (7) 2月～ 卒業を祝う会 [各小中学校]
- (8) 2月27日 特別支援教育研究部運営会議 [取手市役所藤代庁舎]
・今年度の活動の反省
・次年度の活動について

3 今年度の成果

- 提案授業の振り返りや各自の授業における課題について、オンラインによる協議を行った。コロナ感染への対策ばかりでなく、働き方改革の点からも、参集するのではなく、オンラインでも、活発な協議ができることがわかった。
- 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と対応について、動画視聴・研修協議等で研修を深めることができた。

牛久市

1 研究主題

- 児童生徒一人一人のニーズに応じ、社会性を育成するための自立活動の工夫

2 事業内容

- | | | |
|-----------------------------|---------------------|----------------------------|
| (1) 牛久市教育研究会総会 | 5月6日 | [書面開催] |
| (2) 第1回 特別支援教育部員研修会 | 7月 | [書面開催] |
| (3) 中学校区夏季研究協議会 | 7月29日 | [場所：各学区内の中学校] |
| (4) 県南地区 担当者研修会 | 8月 | 中止 |
| (5) 第2回 特別支援教育部員研修会 (各校1名) | 9月30日 | [場所：向台小学校] |
| (6) 中学校区スポーツ交流会 | 10月 | 中止 |
| (7) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 | 12月1日(木)～5日(月) | [場所：ザ・ヒロサ・シティ会館] |
| (8) 第29回かがやき展 (手をつなぐ子らの作品展) | 令和5年1月27日(金)～30日(月) | [場所：牛久市中央生涯学習センター2F 展示ホール] |
| (9) 県南Bブロック冬季研修会 | 2月 | 中止 |
| (10) 第3回 特別支援教育部員研修会 | 2月 | オンライン開催 |
| (11) 「年間活動のまとめ」作成、次年度への引継ぎ | 2月 | [場所：牛久第二小学校] |

3 今年度の成果 (成果については、いくつ記載しても結構です。)

- コロナ禍の影響により、過去2年間の間、参集型牛久市特別支援教育研究部の実践報告がほぼ無い状況であった。しかし今年度は、感染症対策を施し、スポーツ交流会以外は全て実施することができた。
- 牛久市中央生涯学習センター2F 展示ホールで開催された第29回かがやき展 (手をつなぐ子らの作品展) は、230名の来場があり、大盛況であった。
- 市内小・中・義務教育学校 (計13校) でローテーション表を基に担当者を決め、運営・実行しているため、役割が明確し、何事もスムーズに実践することができた。

つくば市

1 研究主題

- 研究テーマ「一人一人のニーズに応じた支援の在り方を工夫した教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) つくば市教育研究会総会 5月7日 [場所：オンライン]
- (2) 第1回代表部員会 6月28日 [場所：谷田部小学校]
- (3) 第2回代表部員会 7月15日 [場所：谷田部小学校]
- (4) 夏季県南特別支援教育研究部講演会 8月22日～9月23日 [場所：オンデマンド]
- (5) ナイスハートふれあいフェスティバル作品展参加 12月2日～12月5日
[場所：ザ・ヒロサワシティ]
- (6) 手をつなぐ子らの作品展 11月～12月 [場所：学園・学校・オンライン]
- (7) 第3回代表部員会 2月 文書報告

3 今年度の成果

- 特別支援教育部会の今後の体制について確認できた。
- 手をつなぐ子らの作品展については、各校や学園の工夫において、1100名の児童生徒が参加できた。

守谷市

1 研究テーマ

「コロナ禍における通常の学級と特別支援学級の合理的配慮を踏まえた指導の在り方」

2 事業内容

- 第1回守谷市特別支援教育研究部会
5月17日(月) オンライン開催 組織づくり、年間活動計画作成
- GoogleClassroomを開室し、特別支援教育に関する情報交換 通年
- 県南地区特別支援教育研究協議会
8月22日(月)～9月23日(金) オンデマンド視聴
講演「特別支援教育の現状と課題」
講師「県南教育事務所：久保田千恵 指導主事」
- 広報誌「みらい」発行
6月1日(水)、7月19日(月)、1月25日(水)
- 第1回守谷市特別支援教育研究部研修会
10月26日(金) 於：市役所
講演「守谷市の特別支援教育について」
講師「守谷市教育委員会指導主事：黒井 孝弘 指導主事」
- 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加
11月24日(木) オンライン参加
- 第1回 守谷市特別支援教育に係る児童生徒作品展
1月21日(土)～1月30日(月) 於：イオンタウン守谷
- 第2回守谷市特別支援教育研究部研修会
2月8日(水) オンライン開催
講演「WISC-IVの結果を支援につなげる」
講師「日本臨床発達心理士会茨城支部支部長：大六一志先生」

稲 敷 市

1 令和4年度研究テーマ

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) 組織づくり、研修テーマの決定、活動計画立案
→ 研究部長を中心に、電話で連絡を取り合いながら決定
- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会
→ オンデマンド 8月22日(月)～9月23日(金)〔場所：市内各学校〕
- (3) 県南地区の特別支援教育担当者を対象とした電子会議室を開設
→ 各学校における積極的活用を確認 本市より閲覧者を推薦
- (4) 稲敷市「手をつなぐ子らの作品展」 ※本年度より稲敷市単独での開催に変更
→ 1月19日(木)～26日(木)〔場所：江戸崎公民館〕
- (5) 「ナイスハートふれあいフェスティバル2022美術展」 → 本年度は参加校なし

3 今年度の成果

- コロナ禍により過去2年間、一斉開催することができなかった「手をつなぐ子らの作品展」を、公民館を会場として開催することができた。地域の方々にも子どもたちの活動の様子を知っていただくよい機会となった。

かすみがうら市

1 研究主題

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

2 事業内容

- (1) 第1回研究部研究部員会（組織、年間活動計画作成等）5月 書面
- (2) 令和4年度かすみがうら市教育研究会特別支援教育研究部夏季研修会
8月1日(月) 〔場所：あじさい館（かすみがうら市）〕
講演「特別支援教育にまつわるアラカルト」
講師 土浦特別支援学校特別支援教育コーディネーター 加来 慎也先生
- (3) 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加：11月24日(木) オンライン開催
- (4) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 12月1日(木)～12月5日(月)
12月1日(木)～12月5日(月) 〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会〕
- (5) かすみがうら市「手をつなぐ子らの作品展」
1月16日(月)～30日(月)〔場所：カスミ千代田店〕
- (6) 第2回研究部研究部員会（今年度の反省と次年度の取組）2月14日(火)
〔場所：あじさい館（かすみがうら市）〕

3 今年度の成果

- 特別支援研究部の夏季研修会は市内の特別支援学級担任全員が参加し、講師の先生から貴重なお話を聞くことができ、充実した研修会となった。
- 手をつなぐ子らの作品展については多くの方に作品を見ていただくことができた。

つくばみらい市

- 1 研究テーマ「児童生徒の能力を十分に生かす特別支援教育のあり方」
- 2 主な研修と活動
 - 研究部員会（紙面開催）
 - ・年間行事の検討
 - 部員研修会 8月22日（月）～9月23日（金） オンデマンド
 - ・茨城県県南教育事務所指導主事による講話「特別支援教育の現状と課題」の動画視聴
 - 合同学習会
 - ・小絹中学校区小中合同学習会 11月21日（月） フジ取手ボウル
 - ナイスハートふれあいフェスティバル作品展 12月2日（金）～12月5日（月）
 - 市「手をつなぐ子らの作品展」
 - ・各学校での展示開催

稲 敷 郡

- 1 研究主題
 - 児童生徒の実態の即した指導内容とその指導方法の工夫
- 2 事業内容
 - (1) 研究部会 ⇒ 中止
 - (2) 関東ブロック長野水上大会への参加（ZOOMによる希望参加） 8月5日（金）
 - (3) 県南地区特別支援教育研究協議会への参加（オンデマンド参加）
8月22日（月）～9月23日（金）
（講演）「特別支援教育の現状と課題」
（講師）久保田千恵先生
 - (4) 情報共有電子会議室「今さら聞けない！特別支援教育」開設による活用
9月21日（水）より
 - (5) ナイスハートふれあいフェスティバル2022 出展（竹来中が出展）
12月2日（金）～5日（月）〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕
 - (6) 手をつなぐ子らの作品展 1月17日（火）～22日（日）〔場所：阿見町中央公民館〕
- 3 今年度の成果
 - 研究部会や研修については、コロナ禍のため中止またはオンラインでの実施となった。
 - 昨年度まで郡市合同で開催していた「手をつなぐ子らの作品展」は、年々出展数が多くなり、会場確保が困難になったことから、今年度より郡単独で開催することとした。郡内の施設を会場にしたことで「会場までの距離が近くなってありがたい」という保護者からの意見が聞かれたことに加え、特別支援在籍以外の児童生徒や学校職員も足を運びやすくなったことにより、当事者以外の観覧者が多くなった。

北相馬郡

1 研究テーマ

自立と社会参加を目指し、一人一人の「生きる力」を培う特別支援教育の実践

2 主な研修・活動

○町特別支援教育研究部会開催 < 7月6日（水） 利根町立布川小学校 >

- ・部会組織の確認
- ・テーマの決定
- ・年間活動計画の作成

○町特別支援教育研究部会夏季一斉研修 < 8月5日（金）町文化センター >

※新型コロナウイルスの影響により中止

○利根町小中学校特別支援学級交流会 < 11月22日 文小学校 >

※新型コロナウイルスの影響により中止

○利根町児童生徒作品展への出展

※新型コロナウイルスの影響により中止

○ナイスハートふれあいフェスティバル作品展役員派遣

○利根町教育研究会発表会

※書面での報告

3 今年度の成果

コロナの影響で夏季研修会や交流会が中止となったが、小学校統合準備の年度でもあったため、特別支援学級担当教員の集まりがあり、情報交換の場となった。